

「生活と両立」12社知事表彰

男性の育休取得を促進 テレビ会議で移動削減



谷本正憲知事から表彰状を受け取る企業・団体の代表者ら＝県庁で

従業員のワークライフバランス（仕事と生活の両立）に積極的な県内の企業や団体の知事表彰式が六日、県庁であった。男性の育児休暇取得を促進したり、テレビ会議を使って打ち合わせのための移動時間をなくしたりと、各企業・団体の工夫が光る。（蓮野亜耶）

企業・団体の規模を問わず、残業時間の削減などに取り組む「優良企業」に九社、従業員百人以下の企業で、多様な取り組みをしている「グッドチャレンジ企業」に三社が選ばれた。小松市の建設業「トークンリンク」は、テレビ会議システムやインターネット電話「スカイプ」を活用し、会議のため現場から会社に戻る移動時間を削減。加賀市の社会福祉法人篤豊会は事業所内保育園を運営し、園の職員が育児の相談に応じて仕事と子育ての両立を支援している。午後十時に社内のパソコンを強制的にシャットダウン

ンして残業できないようにしたり、午後からの仕事を効率的に行うために仮眠室を設けたりする企業もあった。

谷本正憲知事は「皆さんは県内の他の企業のお手本となる。今後さらに充実させてほしい」と激励。企業側を代表して金沢市の丸文通商の宮本治郎社長が「ワークライフバランスの充実が会社の持続的な発展につながる。社員の家族、地域の皆さんに信頼してもらえる会社を目指したい」と述べた。

◇表彰された他の企業・団体
優良企業 医療法人社団和泉会（七尾市）社会福祉法人石龍会（同）金沢村田製作所（白山市）カラルカンパニー（金沢市）森八（同）NPO法人リエゾン（同）トークンリンク（小松市）社会福祉法人篤豊会（加賀市）▽グッドチャレンジ企業 数馬酒造（能登町）社会保険労務士山田事務所（金沢市）トークン（同）